

各位

遠鉄グループ平成 27 年度中間決算について

当上半期におけるわが国経済は、中国発の世界的な株価の下落による不安定な状況がみられたものの、政府・日銀による経済対策や金融政策などを背景に、雇用環境の改善や一部企業の業績に回復の動きが見られたことなどにより、緩やかな回復基調で推移いたしました。

当上半期における当社グループの連結業績につきましては、売上高は 842 億 4 千 9 百万円(前年同期比 3.9%増加)、経常利益は 17 億 2 千 5 百万円(前年同期比 1.8%増加)、中間純利益は 8 億 6 千 2 百万円(前年同期比 16.6%減少)となりました。

今後の見通しにつきましては、海外景気の下振れ懸念や、再来年 4 月の消費税増税を控えた個人消費の動向など、景気の本格的回復には今しばらくの注視が必要になると思われま

す。このような状況の中、当社グループは、3 カ年中期経営計画「シャイン 2017」の初年度として、「グループ経営の推進と総合力の強化」「人材の人財化、定着の強化」「新しい分野への挑戦」「各事業シェア拡大と自律的発展」の重点政策を推進し、一層の経営基盤の強化に努めてまいります。

なお、平成 27 年度の年間連結業績につきましては、売上高は 1,739 億円(前年比 3.4%増加)、経常利益は 40 億円(前年比 7.2%増加)、当期純利益は 13 億円(前年比 90.1%増加)を見込んでおります。

(別 紙)

- ・遠鉄グループセグメント別(事業別)の概況
- ・業績推移(連結決算・セグメント別売上高)
- ・遠鉄グループ各社の主な事業内容

1. 遠鉄グループセグメント別(事業別)の概況

(1) 運輸事業(鉄道事業・バス事業・タクシー事業など)

バス事業におきましては、乗合バスにおいて、昨年12月に夜行便を品川まで延伸した高速バス「イーライナー横浜線」のご利用者数が増加しました。また貸切バスにおいて、外国人旅行客輸送を積極的に行い、収益拡大に努めました。

タクシー事業におきましては、本年3月に富士山静岡空港行きのリムジンタクシーの運行を開始し収益拡大に努めました。

以上の結果、運輸事業の売上高は、77億1千5百万円(前年同期比1.1%増加)となりました。

(2) レジャーサービス事業(旅行業、ホテル・旅館業など)

旅行業におきましては、開創1200年を迎えた高野山や七年に一度の善光寺御開帳、姫路城へのツアーに多くのご利用をいただきました。

ホテル・旅館業におきましては、ホテルコンコルド浜松をはじめ、外国人宿泊客が大幅に増加しました。

遊園地事業におきましては、本年7月に新アトラクション「立体迷路 デテミーヤ」を導入し遊園地の魅力向上を図りました。

しかしながら、レジャーサービス事業の売上高は、51億4千5百万円(前年同期比2.7%減少)となりました。

(3) 商品販売事業(百貨店業、食品スーパー業、自動車販売業、石油製品販売業など)

百貨店業におきましては、本館1階の特選ブランド「ティファニー」「グッチ」「ロレックス」および本館2階の「婦人靴」の改装を行い、売場の魅力向上に努めました。

食品スーパー業におきましては、既存店の売上が順調に推移するとともに、本年7月に建替えオープンした「浅羽店」をはじめ、改装オープンした「鴨江店」の売上が寄与し、売上高は順調に増加しました。

自動車販売業におきましては、新型「ヴェルファイア」の販売が好調に推移いたしました。また中古車の販売も好調に推移いたしました。

石油製品販売業におきましては、本年7月にセブンイレブン併設型の「遠鉄石油三幸北SS」をオープンし収益拡大に努めました。

以上の結果、商品販売事業の売上高は、596億7千3百万円(前年同期比3.3%増加)となりました。

(4) 不動産事業(不動産業、建設工事業)

不動産業におきましては、磐田市豊田町駅前や美登里町などの分譲住宅およびリセール住宅の販売が好調に推移いたしました。

以上の結果、不動産事業の売上高は、60億1千6百万円(前年同期比12.6%増加)となりました。

(5) その他の事業(保険代理業、食品検査事業、介護事業、自動車運転教習業、人材派遣業、業務請負業、情報サービス業など)

介護事業におきましては、既存施設の業績が順調に推移しました。また、平成28年4月には介護付有料老人ホーム「ラクラス広沢レジデンス」をオープンする予定です。

自動車運転教習業におきましては7月に遠鉄袋井自動車学校の合宿寮をオープンするなど合宿の受入を積極的に行い、収益拡大に努めました。

生活支援サービス業におきましては、本年2月にオープンした「ベンリーえんてつ浜松富塚店」が好調に推移いたしました。

以上の結果、その他の事業の売上高は56億9千9百万円(前年同期比12.5%増加)となりました。

2. 業績推移

(1) 連結決算

(単位:百万円)

	上半期			H27年度	
	H26年度	H27年度	H26年度比	年間見込み	H26年度比
売上高	81,105	84,249	103.9%	173,900	103.4%
営業利益	1,547	1,507	97.4%	3,900	112.3%
経常利益	1,694	1,725	101.8%	4,000	107.2%
当期純利益	1,033	862	83.4%	1,300	190.1%

(注)金額は、百万円未満を切り捨て表示しております。

(2) セグメント別売上高

(単位:百万円)

	上半期			H27年度	
	H26年度	H27年度	H26年度比	年間見込み	H26年度比
運輸事業	7,628	7,715	101.1%	15,800	101.1%
レジャーサービス事業	5,287	5,145	97.3%	10,600	102.8%
商品販売事業	57,778	59,673	103.3%	122,700	102.9%
不動産事業	5,344	6,016	112.6%	13,200	106.5%
その他の事業	5,065	5,699	112.5%	11,600	108.6%

(注)金額は、百万円未満を切り捨て表示しております。

3. 遠鉄グループ各社の主な事業内容

事業区分	事業内容	主要な会社
運輸事業	鉄道事業	遠州鉄道(株)
	一般乗合旅客自動車運送事業	遠州鉄道(株)
	一般貸切旅客自動車運送事業	遠州鉄道(株)
	自動車整備、関連サービス業	遠州鉄道(株)
	一般乗用旅客自動車運送事業	遠鉄タクシー(株)
レジャーサービス事業	旅行業	遠州鉄道(株)、(株)遠鉄トラベル
	ホテル・旅館業、遊園地事業	遠州鉄道(株)、遠鉄観光開発(株)、 (株)ホテルコンコルド浜松
商品販売事業	百貨店業	(株)遠鉄百貨店、(株)遠鉄百貨店友の会
	食品スーパー業	(株)遠鉄ストア
	自動車販売業	ネットヨタ浜松(株)、 (株)トヨタレンタリース浜松
	石油製品販売業	遠鉄石油(株)
	サービスエリア物品販売業	遠州鉄道(株)
不動産事業	不動産業	遠州鉄道(株)
	建設工事業	遠鉄建設(株)
その他の事業	保険代理業	遠州鉄道(株)
	食品検査事業	遠鉄アシスト(株)
	介護事業	遠州鉄道(株)
	自動車運転教習業	(株)遠鉄自動車学校、(株)浜松自動車学校
	健康スポーツ業	遠州鉄道(株)
	人材派遣業、業務請負業、ビル管理業、生活支援サービス業	遠州鉄道(株)、遠鉄アシスト(株)
	情報サービス業	遠鉄システムサービス(株)

グループ会社数 16 社(遠州鉄道含む)